

○株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公 告 の 方 法	電子公告により行う [公告掲載 URL] http://www.hayashikane.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

林兼産業株式会社

〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0210 FAX(083)266-1266



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

ホームページのご案内



林兼産業株式会社 Topページ
<http://www.hayashikane.co.jp/>



林兼産業株式会社 IR情報ページ
<http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>

With you

第80期

株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日



Index

業績サマリー	01
社長から皆さまへ	02
セグメント概況	03
トピックス	04
インフォメーション	05
財務諸表(要約)	07
会社概要	09

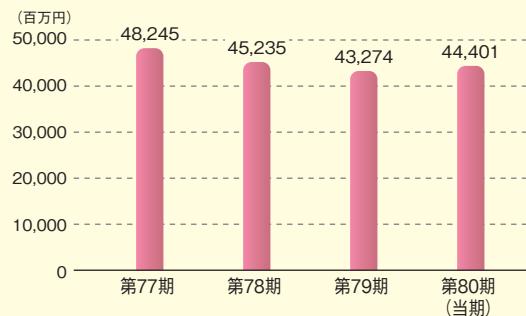
林兼産業株式会社

証券コード | 2286

財務ハイライト

	第80期	第79期	前期比増減
連結売上高	44,401百万円	43,274百万円	2.6%
連結営業利益	1,104百万円	1,014百万円	8.9%
連結経常利益	1,275百万円	1,150百万円	10.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	864百万円	817百万円	5.8%

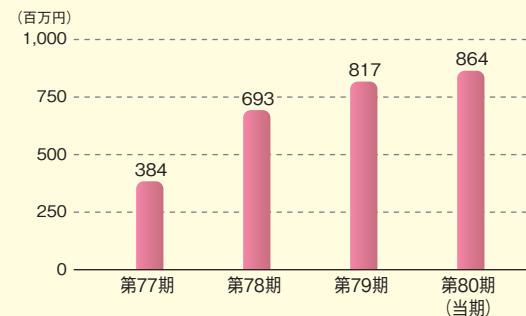
○連結売上高



○連結営業利益 / 経常利益



○親会社株主に帰属する当期純利益



○連結総資産 / 純資産



株主の皆さまに第80期株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度の当社グループの売上高は、養魚用飼料や機能性食品の売上が増加したことなどにより444億1百万円(前期比2.6%増加)となりました。損益面におきましては、売上増加や豚肉の利益率改善により営業利益11億4百万円(前期比8.9%増加)、営業外収支の改善により経常利益12億75百万円(前期比10.9%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益8億64百万円(前期比5.8%増加)となりました。

経営計画

当社グループは、昨年4月に「第四次中期経営計画(2カ年経営計画)」を策定し実行中です。

当社を取巻く原料事情は、今後も厳しい状況が続くものと思われま。魚肉ねり製品の主原料であるすり身、食肉加工品の主原料である豚肉、養魚用飼料の主原料である魚粉などは相場変動により収益を圧迫する要因となります。このような状況のなか、「第四次中期経営計画」では、「前進～次のステージへ」をテーマとして、「収益基盤」

「財務基盤」「経営基盤」の安定化を図り、持続的な成長を可能とする事業基盤の確立に取り組んでおります。「第四次中期経営計画」初年度における連結業績につきましては、事業基盤の確立にグループ全体で取り組み、収益面において当初の計画を上回る結果となりました。今後も外部環境の変化に柔軟に対応しうる「ぶれない事業」を構築し、先行き不透明な事業環境にも左右されない力強い企業として、持続的な事業発展を目指してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月



取締役社長
熊山 忠和

※「第四次中期経営計画」の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。
[<http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>]

[水産食品事業]

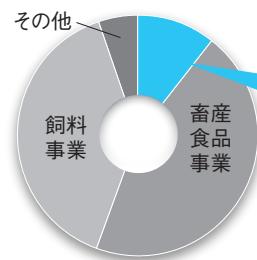


魚肉ねり製品は、輸出が増加したものの、国内の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品は、機能性食品素材「カツオエラスチン」の販売が大きく伸長したことや、高齢者向けソフト食「ソフミート」や和菓子の販売が好調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は47億46百万円(前期比5.6%増加)となりました。損益面は、魚肉ねり製品の主原料であるすり身価格が高値で推移したことにより、セグメント利益(営業利益)は2億48百万円(前期比26.9%減少)となりました。

○セグメント別売上高



47億46百万円

前期比 **5.6%増**

セグメント利益 **2億48百万円**

前期比 **26.9%減**

[畜産食品事業]



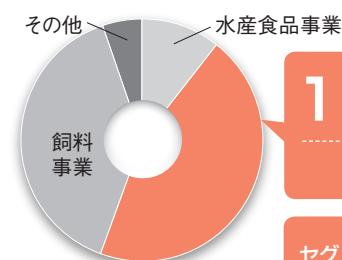
ハム・ソーセージ等食肉加工品は、業務用ウィナーの販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

調理食品は、販売単価が下落したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は199億87百万円(前期比1.2%減少)となりました。損益面は、豚肉の利益率が改善したことによりセグメント利益(営業利益)は5億93百万円(前期比5.5%増加)となりました。

○セグメント別売上高



199億87百万円

前期比 **1.2%減**

セグメント利益 **5億93百万円**

前期比 **5.5%増**

[飼料事業]



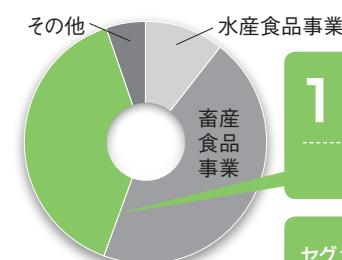
養魚用飼料は、販売数量が増加したことや、原材料価格高騰に対応した価格改定により、増収となりました。

水産物は、相場が堅調に推移したことにより、増収となりました。

畜産用飼料は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は173億82百万円(前期比4.9%増加)、セグメント利益(営業利益)は10億57百万円(前期比6.8%増加)となりました。

○セグメント別売上高



173億82百万円

前期比 **4.9%増**

セグメント利益 **10億57百万円**

前期比 **6.8%増**

第四次中期経営計画進捗報告!

エラスチン生産ラインの増強工事が完了!

当社は、第四次中期経営計画において、機能性食品の増産対応を行うことを施策として掲げておりましたが、このたび、山口県下関市にあります当社エラスチン生産ラインの増強工事が完了いたしました。

当社が製造するエラスチンは、当社の研究開発部門によるエビデンスに裏づけされた有益な機能性食品素材であり、国内の需要の急進に加え、海外からの引き合いも強くなっております。

今後、この生産体制のもと、機能性食品素材「カツオエラスチン」の更なる販売拡大に努めてまいります。



霧島黒豚®は農場から食卓まで 管理された安全・安心のブランド



確かなブランド、
それが霧島黒豚®

～農場から食卓へ～

霧島山麓の大自然の中、自社グループ農場キリシマドリームファームで愛情豊かに肥育されるイギリス系パークシャー種の「霧島黒豚®」。きめ細かい肉質と良質の脂肪が特徴で、旨みと甘みのある美味しい黒豚に仕上げました。



霧島黒豚PREMIER
あらびきウインナー



霧島黒豚
焼肉パーティーセット

赤鶏 さつま

鹿児島島の温暖な気候で肥育された赤鶏さつま。脂肪の色が白く、肉に弾力があり「シャキッ」とした歯ざわりで旨みがあり、風味の良い赤鶏に仕上げました。



赤鶏さつま
サラダチキン&ソテーセット



※調理例

林兼産業は、MARUHA NICHIRO ブランドの フィッシュハム・ソーセージを製造しています

昭和29年(1954年)に下関の地で130gソーセージの生産をはじめて以来、半世紀以上にわたりフィッシュハム・ソーセージを生産しています。
今では、沖縄から北海道まで全国に出荷し、皆さまにご愛顧頂いております。

○主なラインナップ

ベビーハム

発売から60年を超えて愛される超ロングセラー商品です。さっぱりした風味の中にまぐろの旨みが広がります。



フィッシュソーセージ

そのまま食べられ和洋中とさまざまな料理素材としても利用できて、簡単でおいしく、安全・安心! こだわりのロングセラー商品です。



チーズかまぼこ

上質なすり身を使用し、チーズを10%配合した、ぷりっとした食感が楽しめるチーズかまぼこ! おやつにおつまみに最適です。



超高齢社会に対応した食事を通じ、 医療・介護に貢献します

介護食ブランド『まごころキッチン』は、やわらかさに配慮した商品からスタートし、栄養素を強化した栄養機能食品や、介護食材へと広がっています。
病院・福祉施設を中心に全国で使用され、皆さまの心と体の健康を、食事面からサポートしています。

○主なラインナップ

高齢者ソフト食ソフミート

見た目の良い、おいしい介護食が簡単に作れる調理素材です。



スティックゼリー

食べる力が弱まった方のために考えられた少量高栄養ゼリーです。



行事用和菓子

行事や催事に最適な和菓子です。美しさ・季節感を大切にしました。



夏ひまわり 夏空の花
七夕の夜 夏色あさがお

「まごころキッチン」のお問い合わせは ☎0120-158-608

コミュニティサイトで情報配信中 <http://www.hayashikane.co.jp/mk-club/>

財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2019年3月31日)	前連結会計年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産	13,766	13,154
固定資産	16,363	16,091
有形固定資産	10,437	10,198
無形固定資産	21	28
投資その他の資産	5,904	5,864
資産合計	30,129	29,246
負債の部		
流動負債	14,428	14,614
固定負債	7,045	6,913
負債合計	21,473	21,527
純資産の部		
株主資本	6,484	5,708
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	8	8
利益剰余金	3,067	2,291
自己株式	△ 7	△ 7
その他の包括利益累計額	1,333	1,238
その他有価証券評価差額金	1,362	1,290
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 1
為替換算調整勘定	11	11
退職給付に係る調整累計額	△ 40	△ 61
非支配株主持分	837	771
純資産合計	8,655	7,718
負債純資産合計	30,129	29,246

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	44,401	43,274
売上原価	37,214	36,191
売上総利益	7,187	7,083
販売費及び一般管理費	6,082	6,068
営業利益	1,104	1,014
営業外収益	350	352
営業外費用	179	216
経常利益	1,275	1,150
特別利益	225	3
特別損失	310	93
税金等調整前当期純利益	1,190	1,060
法人税、住民税及び事業税	227	316
法人税等調整額	39	△ 113
当期純利益	923	857
非支配株主に帰属する 当期純利益	58	39
親会社株主に帰属する 当期純利益	864	817

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	887	2,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 861	△ 398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 564	△ 1,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 536	675
現金及び現金同等物の期首残高	2,765	2,090
現金及び現金同等物の期末残高	2,229	2,765

連結株主資本等変動計算書(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	3,415	8	2,291	△ 7	5,708	1,290	△ 1	11	△ 61	1,238	771	7,718
当期変動額												
剰余金の配当			△ 89		△ 89							△ 89
親会社株主に帰属 する当期純利益			864		864							864
自己株式の取得				△ 0	△ 0							△ 0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						72	1	—	21	94	66	161
当期変動額合計	—	—	775	△ 0	775	72	1	—	21	94	66	936
当期末残高	3,415	8	3,067	△ 7	6,484	1,362	△ 0	11	△ 40	1,333	837	8,655

個別貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (2019年3月31日)	前事業年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産	11,794	11,347
固定資産	13,011	12,853
有形固定資産	7,261	7,095
無形固定資産	11	13
投資その他の資産	5,738	5,744
資産合計	24,805	24,201
負債の部		
流動負債	12,972	13,258
固定負債	5,034	4,849
負債合計	18,006	18,107
純資産の部		
株主資本	5,593	4,946
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,179	1,532
自己株式	△ 6	△ 6
評価・換算差額等	1,205	1,147
その他有価証券評価差額金	1,205	1,148
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 1
純資産合計	6,798	6,093
負債純資産合計	24,805	24,201

個別損益計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	44,712	43,794
売上原価	38,917	38,056
売上総利益	5,794	5,738
販売費及び一般管理費	4,972	4,966
営業利益	822	771
営業外収益	345	311
営業外費用	151	193
経常利益	1,015	889
特別損失	107	88
税引前当期純利益	908	801
法人税、住民税及び事業税	176	216
法人税等調整額	△ 4	△ 111
当期純利益	736	696

会社概要

会社概要

設立年月日 1941年1月15日
 資本金 3,415,020,145円
 本店 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 〒750-8608 TEL(083)266-0210

沿革

1941年1月 山口県合同缶詰(株)を設立
 1947年6月 山口県缶詰(株)に社名を変更
 1950年10月 日新缶詰(株)に社名を変更
 1952年4月 下関飼料工場を建設
 1955年1月 林兼産業(株)を合併し新社名を林兼産業(株)に変更
 1959年8月 下関工場を建設
 1961年8月 大阪工場を建設
 1962年5月 下関飼料工場を増設
 1962年5月 株式を東京証券取引所に上場
 1964年12月 本社社屋および研究棟を建設
 1968年5月 下関第二工場を建設
 1969年4月 林兼畜産(株)を設立、養鶏・養豚事業を同社へ移管
 1970年6月 都城工場を増設
 1976年2月 林兼冷蔵(株)を設立
 1978年10月 林兼コンピューター(株)を設立
 1986年11月 林兼ポトリ(株)、林兼ファーム(株)を設立し、
 林兼畜産(株)の事業を両社へ移管
 1988年9月 林兼冷蔵(株)第二冷凍工場を建設
 1990年4月 林兼ポトリ(株)が林兼ファーム(株)を吸収合併
 1991年7月 (有)平安海産を設立
 1993年3月 長府工場(養魚用飼料)を建設
 1993年4月 大阪第二工場を建設
 1996年12月 林兼フーズ(株)を設立
 2000年1月 林兼ポトリ(株)が社名を
 キリシマドリームファーム(株)に変更
 2006年10月 都城ウエルネスミート(株)を設立
 2009年3月 (有)桜林養鰻を子会社化

本社・事業所等

管理本部 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 総務部 TEL(083)266-0210
 経理部 TEL(083)266-0214

経営企画室 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0212

内部統制室 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)267-0347

開発部 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)267-1837

品質保証部 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0215

東京支社 / 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目8番7号
 オー・ジー東京ビル8F
 TEL(03)5640-1651

大阪支社 / 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町三丁目4番7号
 第一住建 御堂筋本町ビル7F
 TEL(06)7660-2164

水産食品事業部 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0221

水産食品部 TEL(083)266-0222
 機能食品部 TEL(083)266-1191
 下関第一工場 TEL(083)266-0221

畜産食品事業部 / 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0216

企画開発部 TEL(083)266-0287
 加工食品営業部 TEL(083)266-0223
 食肉営業部 TEL(083)266-0218
 下関第二工場 TEL(083)266-0221

都城工場 / 〒885-0021 宮崎県都城市平江町40号1番
 TEL(0986)23-1450

飼料事業部 / 〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
 TEL(083)267-9125

下関飼料工場 / 〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
 TEL(083)267-9125

長府工場 / 〒752-0927 山口県下関市長府扇町13番33号
 TEL(083)248-5423

役員一覧

2019年6月25日現在

取締役社長 (代表取締役) 熊山 忠和

取締役副社長 (代表取締役) 経営企画室担当 中部 哲二

常務取締役 水産食品事業部長 兼 開発部担当 岡本 伸孝

取締役 (社外・非常勤) 岩村 修二

取締役 (社外・非常勤) 牟田 実

取締役 畜産食品事業部長 兼 東京支社担当 兼 大阪支社担当 三井 宏

取締役 管理本部長 兼 品質保証部担当 高田 啓吾

取締役 飼料事業部長 三代 健造

常任監査役 (社外・常勤) 山本 昌信

監査役 (社外・非常勤) 大深 邦宏

監査役 (非常勤) 川崎 哲彦

監査役 (社外・非常勤) 桑原 望

株式の状況

2019年3月31日現在

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 8,910,000株
 単元株式数 100株
 株主数 6,396名
 (前期末比332名減)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人中部財団	730	8.20
マルハニチロ株式会社	565	6.35
中部 緑	400	4.49
三井物産株式会社	375	4.21
株式会社松岡	360	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	289	3.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	261	2.93
日本生命保険相互会社	255	2.86
株式会社十八銀行	253	2.84
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	220	2.47

(注) 持株比率は自己株式(6,721株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況

[株主数比率]

